

**製品名: 14-3-3  $\sigma$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06287**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SFN
別名	SFN; HME1; 14-3-3 protein sigma; Epithelial cell marker protein 1; Stratifin
遺伝子 ID	2810.0
SwissProt ID	P31947
免疫原	抗血清はヒト SFN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

**背景**

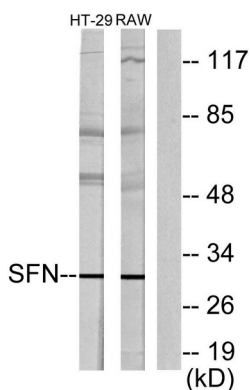
機能: 広範囲にわたる一般および特殊シグナル伝達経路の調節に関与するアダプタータンパク質。通常、ホスホセリンまたはホスホトレオニンモチーフを認識することで、多数のパートナーと結合する。結合は一般に、結合パートナーの活性を調節する。KRT17に

結合すると、Akt/mTOR 経路を刺激することで、タンパク質合成および上皮細胞の増殖を調節する。機能: p53 制御性 G2/M 期進行阻害因子。類似性: 14-3-3 ファミリーに属する。細胞内局在: 非古典的な分泌経路によって分泌される可能性がある。サブユニット: ホモ二量体。KRT17 と相互作用する (類似性による)。XPO7、EIF4A1、ARHGAP1、VPS26A、VPS29、VPS35、および SFN との複合体として存在します。組織特異性: 重層扁平上皮角化上皮が豊富な組織に主に存在します。機能: 広範囲の一般シグナル伝達経路と特殊シグナル伝達経路の両方の調節に関与するアダプタータンパク質です。通常、ホスホセリンまたはホスホトレオニンモチーフを認識することで、多数のパートナーに結合します。結合すると、一般的に結合パートナーの活性が調整されます。KRT17 に結合すると、Akt/mTOR 経路を刺激することでタンパク質合成と上皮細胞の増殖を調節します。機能: p53 によって調節される G2/M 期進行の阻害因子です。類似性: 14-3-3 ファミリーに属します。細胞内局在: 非古典的な分泌経路によって分泌される可能性があります。サブユニット: ホモ二量体。KRT17 と相互作用する (類似性による)。XPO7、EIF4A1、ARHGAP1、VPS26A、VPS29、VPS35、SFN との複合体を形成する。組織特異性: 主に重層扁平上皮角化上皮に富む組織に存在する。

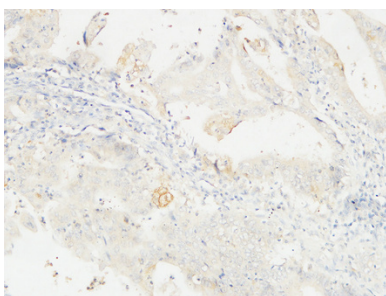
## 研究分野

Cell\_Cycle\_G1S;Cell\_Cycle\_G2M\_DNA;p53;アルドステロンによるナトリウム再吸収;

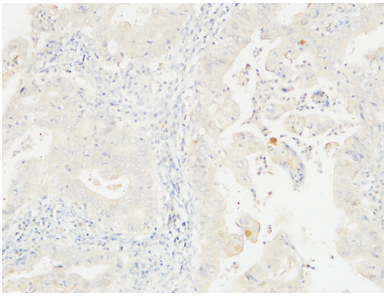
## 画像データ



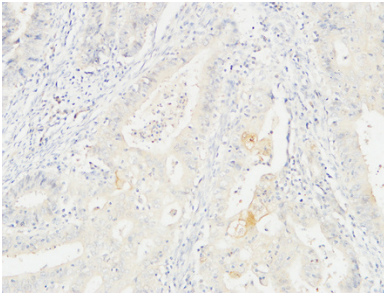
HT29 細胞および RAW264.7 細胞のライセートを 14-3-3 シグマ抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



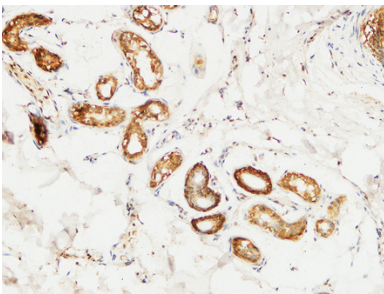
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



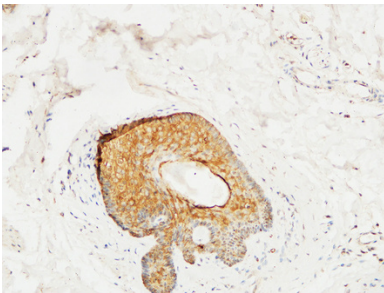
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



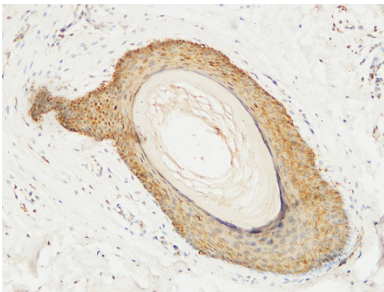
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。